

大学共同利用機関法人自然科学研究機構

平成 30 事業年度財務諸表の概要

自然科学研究機構は、平成 16 年度に法人化し、大学共同利用機関法人として国内外の研究者に対し共同利用・共同研究の場を提供するとともに、自然科学の最先端の研究や関連分野の研究を発展させるための活動を行っています。

本機構における平成 30 事業年度財務諸表の概要は以下のとおりです。

<貸借対照表>

本機構の財政状態を明らかにするため、基準日（平成 31 年 3 月 31 日）におけるすべての資産、負債及び純資産を記載しています。

(単位: 百万円、%)

区分	平成29年度	平成30年度	対前年度 増△減額	増減率	区分	平成29年度	平成30年度	対前年度 増△減額	増減率
	A	B	B-A	(B-A)/A		A	B	B-A	(B-A)/A
資産の部					負債の部				
有形固定資産	94,459	90,046	△ 4,413	△ 4.6	資産見返負債	31,131	30,755	△ 375	△ 1.2
土地	28,839	28,785	△ 54	△ 0.1	引当金	-	-	-	-
建物	30,756	29,092	△ 1,663	△ 5.4	資産除去債務	528	541	13	2.6
構築物	831	753	△ 77	△ 9.3	長期未払金	3,047	3,080	33	1.0
工具器具備品	23,799	20,085	△ 3,714	△ 15.6	固定負債合計	34,707	34,378	△ 329	△ 0.9
建設仮勘定	7,440	8,542	1,101	14.8	運営費交付金債務	2,018	2,756	737	36.5
その他	2,792	2,787	△ 5	△ 0.1	寄附金債務	1,234	1,335	100	8.1
無形固定資産	5,674	5,460	△ 213	△ 3.7	前受金等	655	561	△ 93	△ 14.2
投資その他の資産	60	54	△ 5	△ 9.4	預り科学研究費補助金	432	503	71	16.4
固定資産合計	100,194	95,562	△ 4,632	△ 4.6	未払金	7,714	6,003	△ 1,710	△ 22.1
現金及び預金	9,580	9,484	△ 95	△ 0.9	その他	63	187	123	194.2
未収入金	102	46	△ 56	△ 54.8	流動負債合計	12,117	11,347	△ 770	△ 6.3
たな卸資産	344	348	3	1.0	負債合計	46,825	45,725	△ 1,099	△ 2.3
前払費用	605	554	△ 50	△ 8.3	純資産の部				
その他	111	0	△ 111	△ 100.0	資本金(政府出資金)	75,038	75,038	0	0.0
流動資産合計	10,743	10,434	△ 309	△ 2.8	資本剰余金	△ 11,231	△ 15,094	△ 3,862	34.3
資産合計	110,938	105,996	△ 4,942	△ 4.4	利益剰余金	306	327	20	6.7
					重点研究推進積立金	0	24	24	-
					積立金	0	24	24	-
					当期末処分利益	48	20	△ 27	△ 57.2
					純資産合計	64,113	60,271	△ 3,842	△ 5.9
					負債純資産合計	110,938	105,996	△ 4,942	△ 4.4

(※端数整理のため合計は一致しません)

◆ 資産

資産総額は 1,059 億円で、前年度に比べ 49 億円減少（4.4%減）しました。これは工具器具備品の減価償却により 53.6 億円減少したことなどによるものです。

◆ 負債

負債総額は 457 億円で、前年度に比べ 10.9 億円減少（2.3%減）しました。これは翌年度に繰り越す運営費交付金債務が 7 億円増加した一方で、大型研究機器の保守に係る契約手続きの早期化などにより未払金が 17 億円減少したことなどによるものです。

◆ 純資産

純資産総額は 602 億円で、前年度に比べ 38 億円減少（5.9%減）しました。

これは資本剰余金が損益外減価償却により 37 億円減少したことなどによるものです。

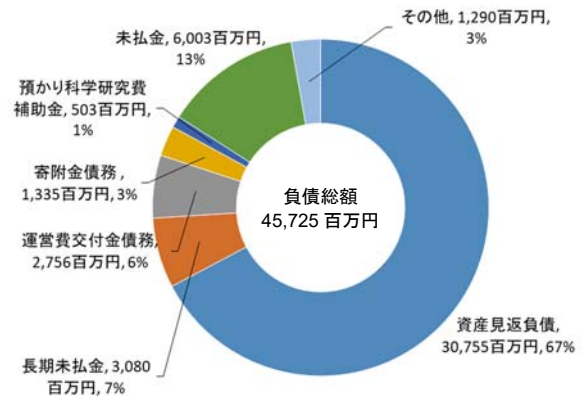
（「純資産」は国立大学法人会計基準等の改正により、平成 19 年度から従来の「資本」から名称変更したものです。）

◆ 資産・負債の構成内訳

【資産の部】



【負債の部】



< 損益計算書 >

本機構の運営状況を明らかにするため、一会計期間（平成 30 年 4 月 1 日～平成 31 年 3 月 31 日）におけるすべての費用と収益を記載しています。

(単位:百万円、%)									
区分	平成29年度	平成30年度	対前年度 増△減額	増減率	区分	平成29年度	平成30年度	対前年度 増△減額	増減率
	A	B	B-A	(B-A)/A		A	B	B-A	(B-A)/A
経常費用 a	35,066	34,196	△ 870	△ 2.5	経常収益 e	35,114	34,220	△ 893	△ 2.5
業務費	33,325	32,456	△ 868	△ 2.6	運営費交付金収益	25,014	24,727	△ 286	△ 1.1
教育経費	3	2	0	△ 21.2	大学院教育収益	263	246	△ 17	△ 6.5
大学院教育経費	185	154	△ 31	△ 16.8	受託研究等収益	2,106	2,423	317	15.1
研究経費	3,178	3,091	△ 87	△ 2.7	寄附金収益	241	271	30	12.5
共同利用・共同研究経費	14,310	13,119	△ 1,191	△ 8.3	施設費収益	119	32	△ 87	△ 73.0
教育研究支援経費	2,778	2,712	△ 65	△ 2.4	補助金等収益	1,847	1,922	74	4.0
受託研究費等	2,105	2,415	309	14.7	資産見返負債戻入	4,583	3,825	△ 758	△ 16.6
人件費	10,762	10,960	197	1.8	財務収益	69	19	△ 50	△ 71.7
一般管理費	1,709	1,722	13	0.8	雑益	867	751	△ 115	△ 13.4
財務費用・雑損	31	16	△ 14	△ 47.2	経常利益 d=c-a	48	24	△ 23	-
臨時損失 b	32	37	5	17.2	臨時利益 e	32	34	1	4.4
					当期純利益 f=e-b+d	48	20	△ 27	-
					目的積立金取崩額 g	0	0	0	-
					当期総損失/利益 f+g	48	20	△ 27	-

(※端数整理のため合計は一致しません)

◆ 経常費用

経常費用の総額は 341 億円で、前年度に比べ 8.7 億円減少（2.5%減）しました。これは受託研究費の受入額の増加に伴い受託研究費が 3.8 億円増加した一方で、共同利用・共同研究設備に係る減価償却費の減少等により共同利用・共同研究経費が 11.9 億円減少したことなどによるものです。

◆ 臨時損失

臨時損失の総額は0.37億円で、固定資産の除却損（残存価額相当分）を計上しています。

◆ 経常収益

経常収益の総額は342億円で、前年度に比べ8.9億円減少（2.5%減）しました。これは、固定資産の償却期間の経過により、減価償却費の見合いとして計上される資産見返負債戻入が7.5億円減少したことなどによるものです。

◆ 臨時利益

臨時利益の総額は0.34億円で、固定資産の除却に伴う資産見返負債戻入等を計上しています。

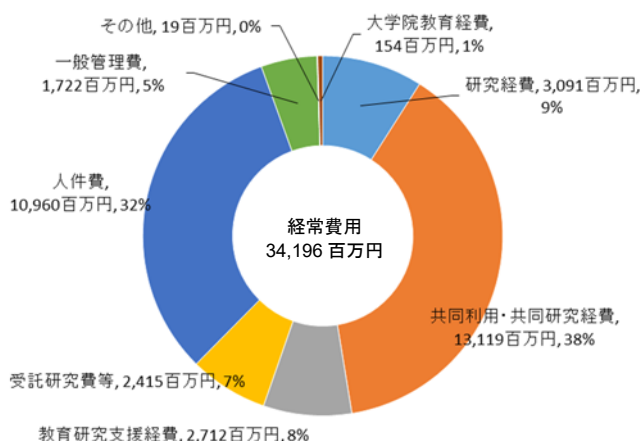
◆ 当期総利益

収益から費用を差し引いた0.2億円が当期総利益となります。

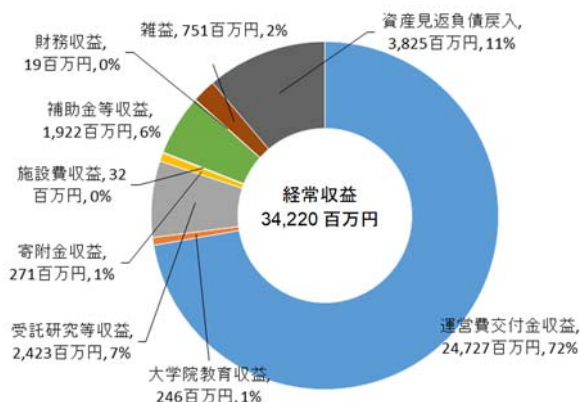
利益を計上するに至った主な要因は、経費節減等による剰余金、ファイナンスリース取引特有の会計処理による利益、国立大学法人会計基準に則り処理した結果発生する資産見返負債の立たない資産の取得及び費用化によるものの差額による利益を計上したことなどが挙げられます。

◆ 経常費用・経常収益の構成内訳

【経常費用】



【経常収益】



(お問合せ先)

自然科学研究機構 事務局財務課財務係

電話 03-5425-2040 FAX 03-5425-2049